



巡回診療診察の様子



医療功労賞授賞式

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第40号 (H27.4.7)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 平成27年も4月となりました。私の職場にも新規採用の元気な職員が入ってきて職場の雰囲気もまた新しくなっています。

皆さんの周囲でも多くの変化があったことと思います。

今回は、3月20日に山元香代子先生が受賞された医療功労賞の状況や、ザンビアからの活動報告等をお伝えします。

会の経過報告 (27年2月以降)

- ・2月16日 NPO法人として、宮崎市長宛「事業報告書等提出書」を、平成26事業年の活動報告、決算報告等取りまとめて提出
- ・3月8日 認定NPO法人として、県知事宛「役員報酬規定等提出書」(様式第17号)等書類を提出
- ・3月20日 法人副理事長山元香代子先生が第43回医療功労賞を受賞(全国で11名)
- ・4月2日 宮崎県、宮崎市の税務担当部署に法人税減免申請書を提出

医療功労賞受賞報告

会の経過報告にも記載しましたが、3月20日、山元香代子先生が第43回医療功労賞を受賞しました。医療功労賞は、1972年(昭和47年)に地域医療への貢献者を顕彰する目的で設立(主催：読売新聞社、後援：厚生労働省、日本テレビ放送網、協賛：エーザイ)されたもので、国内部門と海外部門があり、これまでに695名の方が全国表彰を受賞されています。

山元香代子先生が受賞された海外部門の選考基準は、「困難を伴う海外の医療、災害現場で、現地の保健・医療・福祉の向上に著しく貢献した人。海外において通算5年以上献身的に職務に励み、顕著な功績をあげた人。または通算10年以上、大使館やNGOなどで海外医療業務の助成に貢献した人」との内容で、WHOやJICA、そして皆さんの支援を受けてのザンビアでの辺地巡回診療活動などが評価されたものです。



皆さんと一緒に先生の受賞を喜ぶと共に、これまでのご支援に重ねて御礼申し上げます。

* 受賞された山元香代子先生からのメッセージです

みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。宮崎は桜やイワツツジが満開です。山々も緑になり、日本は本当に美しいところだとつくづく実感しています。

私は、昭南病院での仕事が終わりと、4月3日にザンビアに戻る予定です。不在の間も、山本ひとみさんにご無理をお願いして、巡回診療活動はきちんと継続されているようです。そろそろマラリアの患者が増えてきているようです。山本さんには、現地でのNGO登録に関しても仕事をしていただいています。それをしないと、私の労働許可証の延長ができないのでこままってしまい、助けていただいています。山本さん、いろいろとありがとうございます。

3月20日に第43回医療功労賞海外部門を受賞することができました。国内部門9名、海外部門もう1名の方々といっしょに、帝国ホテルでの表彰式に出席し、その後、皇居で天皇皇后両陛下に拝謁するという光栄に浴しました。このような賞をいただいたのは、みなさまのご支援のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいでした。これからもしっかりと精進していきたいと気持ちを新たにしました。ありがとうございました。



ザンビア活動報告（山本ひとみ様から）

@3月4日 ムワンタヤ（配車：2台）

同行者：Mr.Muleta, Mr.Stunbeko, Mr.Shibanda, Mrs.Chibulika

患者数：116名 うちマラリア陽性患者20名 主な症状：咳、湿疹、マラリア

道路状態は悪くなく、このたびの移動はスムーズにできたようです。

ここ数日、激しい降雨はないですが、道路状態が非常に悪いとき、小川が増水しているときは、「勇気ある撤退」。無理せず、中止するように再度ドライバー・スルさんに伝えました。

・車両管理

バルーン型：ディスクの交換、最後の1枚未了

ボックス型：ラバーブッシュ購入済み。近日中に作業にあたる予定。

@3月11日 ルアノ（配車：2台）

同行者：Mr.Muleta, Ms.Elizabeth, Mr.Sibanda, Mrs.Chibulika

患者数：106名（うちマラリア患者20名）

主な症状：こども＝鼻水、せき、目の痛み、湿疹、 おとな＝せき、マラリア

朝晩肌寒く日中暑い、という天候のせい、変わらず風邪ひきの方が多ようです。

マラリア患者は人数はそう多くはないのですが、2名マラリアの症状が重く自分で立つこと歩くことができず、牛車(Ox Cart)で運び込まれたそうです。

年配の女性1名は、点滴など処置の後、牛車までの近距離は歩けるまでに回復したそうです。

・車両管理

バルーン型：鋭利なものにあたったのか、タイヤがバースト(写真)。修理も不可能な状態です。とりあえず、予備の古タイヤで対応しますが、1本購入した方が良いかと思われま。あちらこちら、かちやかちや音が鳴っていますが、大きな問題はあ



りません。ブレーキディスクの交換もすべて終了し、足回りは良好です。

ボックス型：ラバーブッシュの交換終了。片方のスプリング（写真では左側）が定位置に固定しても、落ちてしまう。普段利用しているメカニックでは対応できず、別のメカニックに相談したところ、ボルトの一つがダメになっているのでは？という意見。近日中に見てもらい、スプリングが定位置に落ち着くように整備してもらいます。

@3月18日 ニャンカンガ（配車：2台+1台(IFMSA)）

同行者：Mr.Muleta, Ms.Elizabeth, Mrs.Chibulika, Mr.Sibanda, Mr.Mwiinga, IFMSA 学生 3名

患者数：216名（うち マラリア 112名） 主な症状：咳、鼻水、目の痛み、マラリア

マラリア患者の多くは、子どもと女性。マラリアの男性患者は少ないそうです。

患者数も多かったため、学生さんたちの対応はほとんどできなかった、とスルさん。

学生さんは活動をどのように見て、何を感じられたのでしょうか。感想が届くのが楽しみです。

さいきん雨が降っていないので、道路状態はそれほど悪くなかったようです。

・車両管理

バルーン型：ブレーキパッドの交換が必要。つい最近交換したところなのに…と確認したところ、ひとつだけ交換、などしているため、バランスも悪いようです。今回は全部一気に交換してもらい、状態の良いものは保管してもらっておきます。

ボックス型：スプリングは定位置に落ち着きました。こちらも、ブレーキパッドの交換が必要。

@3月25日 ルアノ（配車：2台）

同行者：Mr. Muleta, Ms. Elizabeth, Mrs. Chibulika, Mr. Sibanda, Mr. Mwiinga

患者数：220名（うちマラリア患者 36名） 主な症状：咳、鼻水、目の痛み、湿疹、マラリア

体が気温の変化についていけず、体調をくずす人が多いようです。幸い、重症患者はいませんでした。

・車両管理

バルーン型：ブレーキパッドの交換、基本サービス（オイル・フィルターの交換）が必要

ボックス型：ブレーキパッドの交換済み、基本サービス（オイル・フィルターの交換）が必要

賛助会費の納入について 認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業年度は1月から12月です。どうぞ賛助会費（個人一口 5000 円、団体一口 10000 円、一口以上）のご協力をよろしくお願い致します。入金を確認しました際には、日高からその旨のメールを差し上げていますので、メール連絡が無い場合は問い合わせの連絡をお願いします。どうぞよろしくお願い致します。

すでにご案内の通り、賛助会費についても寄附と同様、税控除の対象となります。後日、寄附受領証明書をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。

また、郵ちょ銀行以外の銀行から WEB で振り込まれる際は、できましたら付加情報として住所、氏名(漢字)を加えていただきますと対応しやすい(何もしないとカタカナの氏名のみ)です。よろしくお願い致します。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

平成 27 年もどうぞご支援のほどよろしくお願い致します